視察研修・研修会報告書

議席番号（6番）　議員名（加藤久人）

1　年　月　日	令和8年4月20日～21日　（日数　1泊2日）
2　場　所	全国市町村国際文化研修所
3　視察・研修事項	第1回市町村等・議会議員特別セミナー
4　面　接　者	総務部　資産経営課　係長　住本　啓　様

5　視察研修、研修会の成果

4月20日

13：15～14：45

・対話と挑戦で切り開く自治体経営～人口5万以下都市の未来戦略

講師：鹿児島県日置市長　永山　由高　氏

（主な内容）

42歳の若さで市長2期目、その取り組みに興味をもって聞かせて頂いた。

議員、職員との情報共有を大切にし、機会あることにブロード発信をし、常に自分の考えを発信している。又、日置市は4町が合併しており、その4町を1年ごとに家族を連れて引っ越ししており、地域の情報を肌で感じ取っている。又、就任直後から470名の全職員と面談を行い、意思の疎通を図っている。

（感想）

常に、市民目線にて市民の声を聞き市政に反映させる重要性を感じた。

15:05～16：35

・観光と地方創生

講師：元観光庁長官　溝畑　宏　氏

（主な内容）

大阪万博を成功させた一人であり、「ミャクミャク」をつけての入場であった。

観光を通しての地方創生について、これまでの職歴における成功例が主な講義内容であった。

（感想）

地方の活力が日本を変える。その為には地域経済の活性化が必要である。

・1人ひとりの住民が自分の住んでいる地域に対して、「自信」、「元気」、「誇り」を持つような社会をつくることが重要である。正にそのとおりであり、そのためには今何ができるのか、市民皆様と意見交換をするべきと思えた。

視察研修・研修会報告書

議席番号（6番）　議員名（加藤久人）

4月21日

9：00～10：30

哲学とＡＩ　～ＡＩと人間の関係～

講師：京都大学　特定教授　出口　康夫　氏

（主な内容）

哲学的な内容が多く、なかなか理解できない部分もあったが、ＡＩは生活を豊かにする便利な道具であるが、全てを任せてはいけない。色々なＡＩを使いこなしていかなければいけないというような内容であった。

（感想）

これからの世界、ＡＩに依存する部分が多くなることが予想されるが、決してＡＩに使われる事無く、AIを使えこなせるようにしていかなければいけないと感じた。

10：50～12：20

現代の若者論

講師：日本大学危機管理部　教授　西田　亮介　氏

（主な内容）

現在の若者の政治に対する関心内容などを、過去の選挙結果などを踏まえての講義であった。

（感想）

昨今のＳＮＳの選挙では、十分民意が反映されているとは言えない。という内容があったが、正にそのとおりであると思う。特にショート動画等による一部分だけが独り歩き、それが民意に大きく影響していることは今後の大きな課題であると思える。